

町長所信

(要旨)

昨年四月二十七日、私は地震・津波対策と町の活性化を二大目標として、町長に就任致しました。

少子化により日本全体の人口が減少する中、牟岐町は少子高齢化がより一層加速し、将来に大きな不安を抱えています。できるだけ

早く人口バランスを元に戻すには、若者を町に留めるだけでなく、町外から受け入れること、交流人口を増やすことが必要です。そして、あらゆる仕事を創造すること、医療施設をはじめ公共施設の充実を図ること、町の美しい景観を創造することが必要です。

地震・津波等の防災対策ですが、国においては懸命な復旧復興対策や防災計画の見直しを行っていると、徳島県において



牟岐小学校5年生との対話集会

も、昨年十二月に想定津波高の見直しを行うと共に、千年に一度の地震津波にも安全な地域防災計画の見直しと、防災対策に取り組んでいます。牟岐町においても、来年度、地域防災計画の見直しを行います。当然、ハード整備も今年度以上に進める必要があります。

まずは子供の命を守るため、統合小学校と保育所の移転改築を進めています。同様に海部病院の高台への移転を県にお願いしているところ。町としては、病院用地の造成と周辺の町道整備を全力で進めたいと考えています。国庫補助の都合もあり、平成二十五年度中の建物の着工が必要ですので、皆様方のご協力をお願い致します。

避難所や避難路の設置ですが、私は、この整備を、町づくりの一環として取り組むのが最良の方策と考え、この避難所・避難路をウォーキングコースに取り込み、整備を継続し易くすると共に、普段から散歩やジョギングに利用し、健康管理や

体力向上に役立ててもらいたいと考えています。雇用の問題ですが、漁業は平成十七年をピークに毎年一から二割、漁獲高が減少しています。更に、魚価の低迷と燃料費の高騰により、実質の収支は危機的状況にあります。このような中、どのような漁業をすれば一家が生計を立てられるのか、養殖を行う、漁業と兼業できる仕事を模索する、観光漁業を増やす等、可能性のある道を模索したいと考えています。

次に農業ですが、まず鳥獣害対策を行う必要があります。また、圃場整備を行った土地で野菜等を作る場合の土壌改良の方法なども検討していく必要があります。そして、多くの農家が結束して特産品を開発し、ブランド化するために、牟岐町で生産しやすく特色のある作物を見つけることが必要です。

次に交流人口の増加による町の活性化ですが、今年度は施設を貸して頂き、民宿経営者による廻路宿の運営

とか、専門飲食店の営業ができないか試行したいと考えています。また、中山間地域に建物をお持ちの方にもお貸し頂き、サテライトオフィスを開設したいと考えています。とにかく、若者の仕事を創る、誘致する、このためにあらゆる手段を講じたいと考えています。

また、開設が遅くなりましたが、多くの方が共同で、みやげ物をつくり販売する場所を提供するため、町の観光地を紹介するため、商工会が中心となり、牟岐町観光物産館を、オープンすることとなりました。牟岐町の現在の製造業者の方の商品を展示販売するだけでなく、店舗を持たない方が創った物でも良い物は売るので、町の特産品とするだけでなく、物産館自体が雇用の場となってくれることも期待しています。

一昨日、牟岐小学校の生徒と対談する機会がありました。その中で、多くの生徒が、牟岐町の魅力として、自然が豊かで綺麗であること、また人々が親切でやさ